

AIRA PRESS

7

2019 (R1)

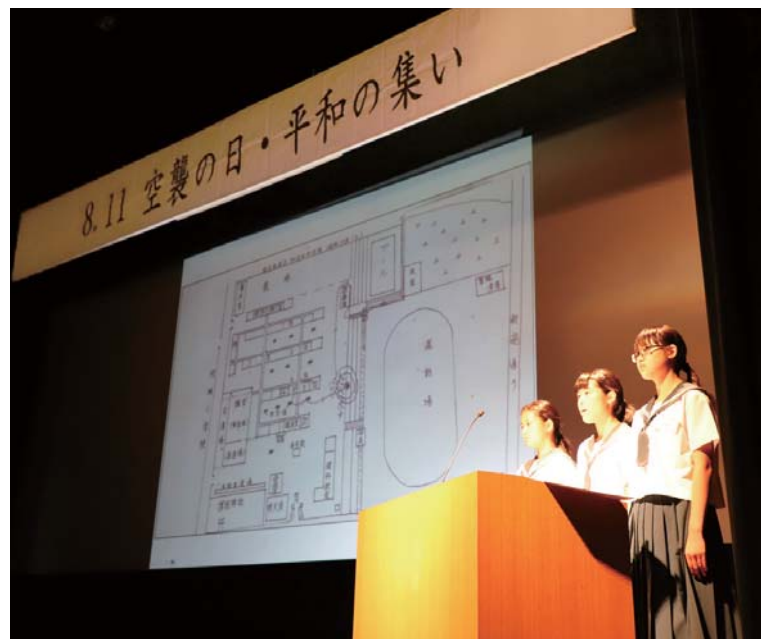
今回の
トピックス

1. 海のジビエを市特産品に——。 錦江湾エイ、地産食材復活へ

2. 黒川から湾全域の名として定着した鹿児島島のアイデンティティ 県民の心癒す錦江湾由来の地「黒川岬」



「空襲の日・平和の集い」が8月11日(日)に開催されます。74年前のこの日、加治木市街地を米軍が空襲し、2900人が被災(学生を含む30人が死亡)。あの日を風化させないため、集い当日は加治木中学生の空襲取材発表や小学生の朗読などがあります。午前9時30分〜加音ホール。錦江校区コミュニティ協議会主催。



日時 令和元年7月23日(火) 午前10時~
場所 始良市役所本館2階 市長室

次回は、8月26日(月) 午前10時~ 始良市役所本館2階大会議室

海のジビエを市特産品に――。

錦江湾エイ、地産食材復活へ

水揚げ

8月5日(月)

5:00～8:00/加治木漁港

※出港は海の状態で判断します。

試食会
予定

9月2日(月)

14:00～16:00/始良公民館

※後日詳細はお知らせします



エイの身質(肉質)は、骨が軟骨で小骨もほとんどなく、国内をみると、エイは愛知や佐賀などのほか、北海道では“かすべ”と呼ばれ食材として使用。美食の国・フランスでは柔らかい鶏肉に似た食材として、子どもから高齢の方まで広く親しまれているといえます。



ブリやカンパチ、ウナギなどが豊富な水産県として有名な鹿児島ですが、水揚げされる魚たちのなかには価値のない魚としてレッテルを貼られてしまうモノも少なくありません。市場にも出回らない「エイ」もそのひとつです。

市特産品協会(山崎司会長)は錦江湾に生息するエイを使った新商品開発に本格的に乗り出し、9月2日、エイを使用したレシピの試食会を開催する予定です。

20年ほど前までは食卓に並ぶこともあったエイ。同協会では市の特産品として刺身や唐揚げ、煮付けに合うごく普通の身近な食材として復活させたいと期待。市のブランディングとして市もこの開発活動を支援しています。また、エイは海の生態系のひとつとして機能している面もあり、特産品開発の動きと合わせて、子どもたちが錦江湾の生態を学ぶ活動や学校給食(食育)などにも活用できるかもしれません。

重富海岸は昭和30～50年代に毎年数万人の潮干狩り客などで賑わうほどアサリが豊富に生息する海岸でしたが、平成に入ると徐々にアサリの姿が見られなくなりました。主な原因として平成5年に発生した8・6水害に伴う泥被害とされていますが、エイによる食害も観察の結果判明しています。昨今の海水温度の上昇により、特に南の海に生息していたナルトビエイ(次頁上部)が錦江湾内に入り込み、頻りに漁網に掛かるようになってきました。

エイは海水温度の高い夏頃に産卵期を迎えるため、漁協では7月～9月に集中してエイを駆除します。エイの活用は重富海岸の干潟を全盛期の賑わいを戻す流れにもつながります。

高齢化や低迷している水産品需要の底上げになればと地元漁協・錦海漁業協同組合(梶健一組合長)もエイの潜在価値に期待しています。

担当窓口

商工観光課 原田 ☎66-3145

参考文献(広報広聴係収集)

- ・百科動物たちの地球魚類/朝日
- ・海洋生物ガイドブック/東海大学出版会
- ・生物図鑑魚類/学研

尾に毒針(棘)があり、普通は岸近くの表層を泳ぎ回る。海底でじっとしていることもある。主に貝類や海底近くにいる小魚を食べる。全長約1m。水深10m前後の岩礁付近の砂底にすむ。かごしま水族館にいるのはマダラトビエイで、同じトビエイ科。



ナルトビエイ
Netelatus narutoi



アカエイ
Dasyatis akajei



腹面

日本の沿岸で最も普通に見られる。水深10m前後の岩礁付近の砂底にすむ。尾に大きな毒針(棘)が1、2本あり、餌は小魚、エビ、カニ類など。産仔期は春から夏。全長約2m。腹面は白色で、縁あたりがオレンジ色であるため、すぐにほかのエイと区別できる。夏は美味で、フランス料理にも使われている。

エイの活用事例

竜田揚



味噌煮



刺身



画像提供: 筋肉料理人 藤吉和男氏

始良市沿岸に生息する主なエイ

ツバクロエイ

Gymnura japonica

南日本から南シナ海にかけて生息する。尾に毒針(棘)があり、岸近くの砂泥底にもぐってすみ、主に底に住む小動物を食べる。全長約1m。食用としても使用される。胸びれが大きい(広い)のが特徴。

報道のみなさんへご案内です

水揚げ船
同行取材

8月5日(月)

午前5時~8時
※7時に帰港予定
協力: 錦海漁業協同組合

水揚げ現場と捕獲方法



尾に毒性の棘(トゲ)を持つエイ。

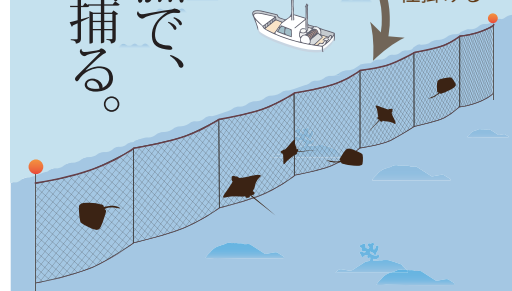


棘の処理など安全面を考慮し複数人のチームで作業をする。

刺し網^{あみ}漁で、
エイを捕る。



仕掛ける



海中に網を立て(刺し)て仕掛ける「刺し網」を使用。遊泳中のエイが絡まる仕組みとなっている。

黒川から湾全域の名として定着した鹿児島県のアイデンティティ 県民の心癒す錦江湾由来の地「黒川岬」



鹿児島県民だれもが親しみを込めて呼ぶ「錦江湾」。その湾名の発祥とされる黒川岬は日木山川の河口近くを呼び、河口の東側に突き出しています。昨年度から岬を眺望できる展望公園の整備が進み、さらに訪れやすくなっています。

島津氏が統治する以前は肝付氏の領地で、本格的な三州統一に乗り出す島津氏は大隅攻略のため肝付氏とこの地で激突。島津家臣の伊集院氏が陣を構え、肝付氏は川の向かい側に陣取り「黒川崎合戦」(天文 18 年 / 1549)が繰り広げられました。

島津義弘公の初陣を飾った岩剣城の戦いで鉄砲が実戦で初めて使用されたという説がありますが、実はこの合戦こそ、鉄砲が初めて戦闘で登場した場所であったといわれています。この戦の様子を『貴久公御譜』には「而日日飛羽箭、發鐵砲、經數月驚人之耳目」(連日矢が飛び交い、鉄砲を發したので、数か月、人々の耳や目を驚かせた)と記されています。

時は経過し、合戦から約 250 年後の 1801 年、島津久徴が書いた黒川記に錦江の由来が島津家久(義弘公三男)が詠んだ和歌「浪のおり かくる錦は 磯山の 梢にさらす 花の色かな」にちなんでいと残されています。

当初は黒川河口の入り江が錦江とされていましたが、徐々に拡大して加治木前面の海、そして加治木自体を錦江の里と呼ぶ(詠う)人たちも現れています。大正時代になると新聞や教科書に鹿児島湾と併記して錦江湾と表記され、昭和 30 年(1955)には厚生省が鹿児島湾を錦江湾国定公園として指定。今ではごく普通に鹿児島湾域を錦江湾と呼ぶようになっています。

現在では想像できませんが、日木山川には数百本の桜が咲き誇り「桜川」とも呼ばれ風情のある景色を見ようと多くの訪問客で賑わったといえます。春には文人墨客などの風雅を好む人々が絶え間なく奇岩を往来していたと伝えられています。

担当窓口

加治木地域振興課 福留
☎62-2111(内線 260)

参考文献(広報広聴係収集)

- ・「錦江湾」の由来について / 栗林文夫著
- ・埋もれた錦江湾の語源の謎(1)~(4) / 渡部恒夫著
- ・与謝野鉄幹・晶子と加治木 / 加治木与謝野夫妻歌碑建設実行委員会発行
- ・加治木史談80周年記念誌 / 加治木史談会事務局発行
- ・性應寺歴史と資料 / 性應寺発行



1. まち歩きスポット

黒川岬の周辺は国の登録文化財となっている森山家住宅、加治木島津家や北海道のビール産業振興に貢献した村橋久成のルーツ（島津家分家・村橋家）などが眠る能仁寺墓地、島津義弘公を祀る精矛神社など、島津家や薩摩藩、そして幕末・明治維新につながる散策エリアとなっています。

地元のまち歩き団体などの観光コースのお立ち寄りスポットでもあり、展望公園の整備で、さらにその利便性が増すと期待しています。

2. 黒川山と歌人・与謝野夫妻

いろんな楽しみ方。
歌



黒川山

与謝野鉄幹の父・礼蔵は僧侶で明治14年(1881)、加治木町の性應寺(しょうおうじ) / 当時・西本願寺説教所) に赴任。鉄幹は9歳から約1年間、この寺で少年期を過ごしています。本市を去る際に近くの山からタブの木を移植。その山が黒川山との説があります。

それから40数年後、妻・晶子と二人で同寺を訪問。そのとき詠った夫妻の歌碑が寺の角(国道10号/村田商店前)に建ち、タブの木も残存しています。



地図：今昔マップ

黒川岬展望公園



県地域振興推進事業(補助50%)事業費

- ・H30年度 4,342万円
7台分の駐車場と東屋を整備
- ・H31年度 2,258万円
トイレを整備する予定

4. 太古の歩みを体感「柱状節理」

いろんな楽しみ方。
地質



黒川岬

岬に近づくと始良カルデラをまざまざと感じさせる柱状節理(ちゅうじょうせつり)をみることができます。噴火によって流出したマグマ(溶岩流)が冷却して固結する際、変形・風化してできたもので高千穂峡や日向岬なども有名です。

※黒川岬は落石の恐れと足場が悪いため、ご注意ください。

いろんな楽しみ方。
風景



黒川岬

3. 加治木八景のひとつ

加治木八景のひとつでもある黒川岬。八景は風光明媚な近江八景になぞらえたものとされています。昭和37年、本市加治木町出身の実業家・園田静夫氏が選定。町民や町議の賛同を得て各場所に石碑を建立しています。すべての碑をコンプリートしてみたいかがでしょう。

1. 龍門滝の雄壮(龍門滝温泉の横)
2. 城山よりの錦江湾
(県道55号の加治木城跡につづく階段)
3. 白糸の五反滝
(ふれあいパークの郷田滝)
4. 蔵王嶽の奇岩
(加治木工業近く吉原の田の神となり)
5. 暮雨の網掛川
(網掛公園セブン側の入口左)
6. 道場原の逆富士
(加治木駅近くの第一交通ゲート下)
7. 黒川岬の激浪(灯籠近く岩の上)
8. 錦江湾に火を噴く桜島
(高岡公園の展望台手前左)

浄土真宗 性慶寺 (しょうおうじ)

久々に再会できたタブの木に感動した
鉄幹の歌(白)と晶子の歌(赤)。直筆/寺所蔵



老いの身の相見て嬉しさをなくして
加治木の寺に植えたがぶの木
寛(鉄幹)



裾山にさくら嶋をば加へたる
遠方見えて雲なかにおく
晶子

寺の角に建つ歌碑と、歌碑の奥にあるタブの木。鉄幹の移植を記す石碑もある。



森山家住宅



森山家は江戸時代から明治時代にかけて鋳物業で繁栄した加治木の豪商。幕末には礮の集成館で大砲の鋳造にも関わり、藩財政を支えた奄美・沖縄の黒糖製造用ナベの製作・販売にも携わった。

黒川岬

①細い道(頭上・足元注意)



②柱状摂理



④灯笼(一番手前)



⑤灯笼(傾いている)



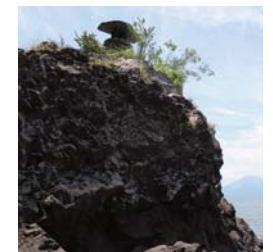
③青島神社



⑥波風による奇岩(岩穴)



⑦灯笼(一番奥)



イベント①

川から眺める景色に地元の魅力を再発見

山田川「親子のふれあい」カヌー体験

主催 市商工会 後援 市教育委員会

7月27日(土)

8:15~13:00

場所 山田川河川敷
(ナフコ入口・豊留橋下)

カヌーを漕いで非日常的な目線で故郷を眺め、自然との触れ合いを深め、地域の魅力を満喫します。

平成18年に夏休みの思い出づくりのひとつとして商工会がはじめたイベントで、今回14回目を迎えます。地元のカヌーインストラクターが丁寧に子どもたちをサポートします。

そのほか、孟宗竹を材料にした昔ながらの水鉄砲づくり体験もあり、地域のおじいちゃんが名人として子どもたちに水鉄砲のつくり方を伝授。毎年定員(100人)を超える応募があります。

お問合せ

商工会 ☎65-2211



イベント②

ターゲットは頭上の的、いざ出陣——。

全日本竹水鉄砲合戦 in 北山 夏の陣

主催 北山校区コミュニティ協議会

7月28日(日)

9:00~

場所 北山伝承館横広場
(始良市北山852-1)

第2回
全日本竹水鉄砲合戦
in 北山 夏の陣

令和元年
7月28日
9:00開始

- 場所 北山伝承館横広場
- 参加募集 小学生チーム16チーム、大人チーム16チーム(1チーム7名、監督1名)
- 参加料 1チーム3,000円(保険等含む)
- 持ってくるもの ゴーグル、着替履、昼食 ※昼食は各チーム持参にてお願いします
- 各種販売ブースあり 焼きそば、かき氷、フライドポテト、飲み物、その他(etc...)

※水鉄砲は、当日に現地で作成可
※ルールについては当日説明
※原則5チーム(少数チーム不可)にて参加願います
※小雨決行

昨年、大盛り上がりした竹水鉄砲合戦が再び勃発。今回は全日本竹水鉄砲合戦実行委員会九州支部の認定を受けての開催となります。地域の特産品である竹をふんだんに活用します。

北山校区では地域に人を呼び込み移住・定住のほか、児童数30人(うち地元児童は7人)の北山小学校の児童増対策にもつなげていきたいと考えています。当日は子どもから大人まで、水しぶきを上げながら真夏の熱戦を展開します。今後、この大会を県大会や九州大会へと広げていく予定です。

小学生チームと大人チーム、各16チーム。1チーム7人制。焼きそばやかき氷なども出店。「竹水鉄砲合戦」は、平成18年に考案された愛知県岡崎市発祥のスポーツです。

お問合せ

全日本竹水鉄砲合戦実行委員会
九州支部長・内瀬
☎090-1888-8939

イベント③

地域の課題共有、地域のこれからを見据えて

人口減少を踏まえた地域づくり講演

主催 始良市自治会運営推進会議

8月2日(金)

18:30~20:30

開場18:00

場所 始良公民館大ホール

人口減少を踏まえ、新しい観点・価値観で地域づくりに取り組む時代がすでに到来していることを再認識するための講演会が開催されます。

今までの地域内の常識や習慣などがあり、仕組みを変えることが難しいなか、どのようにしてこれからの地域住民と向き合い、地域づくりをしていくべきかを考える時間です。17の小学校区の代表自治会長で構成する自治会運営推進会議が主催。講師は子ども論、社会教育、生涯教育を研究する金子満准教授（鹿児島大学法文学部）。



画像は防犯暴力追放協議会総会

お問合せ

地域政策課自治振興係・倉元 ☎66-3121

イベント④

身近な人や地域を救うきっかけに

県内初「こども消防士育成プロジェクト」

主催 始良市消防本部

8月3日(土)・4日(日)

場所 本部(8:30~13:00)

加音ホール、加治木運動場

(13:30~16:30)



災害・救急医療、放水訓練、ボルトタリング、煙体験、炊き出し訓練などを体験。協力団体は県栄養士会、県 DMAT ロジスティクス連絡協議会、市防火協会、県災害派遣医療チーム(DMAT)。

中学生などが消防本部で職場体験や見学を通じて消防活動を学ぶことはありましたが、今回のプロジェクトは小学生を対象とした放水・救命訓練で県内初。子どもの頃から救命・防災活動を身近に体感してもらいます。

今年のテーマは「伝承」。地震や津波などの大きな災害が襲った「平成」から学んだことを「令和」の時代を支える子どもたちに知識・経験・技術などを伝承していくことを目的にしています。

心肺蘇生法や救急・災害医療、炊き出し訓練などをする予定です、救命率の向上、命の尊さや防災の大切さを消防士の魅力と合わせて伝える2日間です。始良市内の小学5～6年生を対象。両日各30人が参加予定。

お問合せ

消防本部警防課救急救助係
うわめるゆ
上温湯 ☎63-3818

イベント⑤

夏のかわきは、AIRAの水でうるおして

「水フェスタ in AIRA City」初開催

主催 始良市水道事業部

8月3日(土)

9:00~15:00

場所 始良市水道事業部
(始良市船津138-1)

国が平成26年(2014)に施行した水循環基本法で8月1日が「水の日」に制定。7日までの1週間を「水の週間」としています。

今年度は始良市でも上下水道事業に関するイベントを初開催。クイズや「利き水」など親子連れを含む多くの市民のみなさんに楽しみながら水の循環や大切さに触れてもらいます。浄水実験や給水車体験、メダカすくい、バルーン風船(竹田瞳さん/KTSかごにゅー司会)のほか、猛暑が予想されますので、柳川氷室のカキ氷やtabbycoffeeのアイスコーヒーなどでおもてなしをします。※すべて無料



イベントサポートは、管工事組合、アリマコーポレーション、市上下水道お客様センター、市健康増進課。左上のマークは健全な水循環に関するロゴ。

お問合せ

水道事業部・成松 ☎65-3450

イベント⑥

地域を盛り上げたいDNAをもつ蒲生人たちが集結

蒲生づくしの蒲生郷夏まつり

主催 蒲生郷夏まつり実行委員会(始良市商工会)

8月9日(金)

17:00~21:00

場所 蒲生大楠運動公園球技場
(始良市蒲生町白男300)



典型的な日本のお祭りを連想させる温かい雰囲気の中、蒲生郷夏まつり。始良ふるさと大使の歌手・西田あいさんや太鼓集団蒲生郷太鼓坊主など、今年も地元出身の歌手や奏者が盛り上げます。間近で見られる締めめの打ち上げ花火1500発は迫力満点。ご家族揃ってどうぞ。出店約30店舗。

- 17:45 ブラスバンド演奏 [蒲生中吹奏楽部]
- 18:00 和太鼓演奏 [大楠少年太鼓]
- 18:15 ダンス [メルヘンキッズ]
- 18:25 フラダンス [フラフラちゃん]
- 18:35 歌謡ショー [出演交渉中]
- 18:55 あいさつ、あいら観光大使紹介
- 19:15 バンド演奏 [八幡バンド]
- 19:35 歌謡ショー [西田あい]
- 20:10 和太鼓演奏 [蒲生郷太鼓坊主]
- 20:30 花火ショー (1,500発)

お問合せ

市商工会蒲生支所 ☎52-0039

イベント⑦

18人の議員が本番さながらの質疑を投げ掛けます

中高生が議場でハツラツ「若者議会」

主催 始良市

8月9日(金)

9:00～正午

場所 市役所 2号館議場
(始良市宮島町25番地)

政治や議会、まちづくりへの関心を深める目的として、未来を担う市内の中高校18人が一日限りの議員となり、模擬的な議会を経験します。

議員は市内の市立中学校5校、県立高校3校、私立高校1校から事前に2人ずつ選出され市が任命します。議長のほか、学生たちが主体となって、議会を進行します。ハツラツとした姿に感動、若い力に圧倒されます。



市内9校の中学校・高校議員が行政にひとり一問ずつ質問。今年は市の総合戦略に関する内容です。

お問合せ

企画政策課企画調整係 ☎66-3147

イベント⑧

We Are!! ジオきっず ～始良カルデラの謎を解け!～

桜島・錦江湾ジオパーク ジオ講座

主催 桜島・錦江湾ジオパーク推進協議会

8月12日(月・祝)

9:00～正午

場所 重富海岸
(始良市平松7703-4)



始良カルデラの魅力に迫るジオ講座。対象は始良・鹿児島・垂水市在住の小学生親子 15 組。講師はNPO法人くすの木自然館の浜本麦さん。

現在、桜島を含む鹿児島市が日本ジオパークとして認定されていますが、今年度から始良市・垂水市までのエリア拡大をめざしています。火山の大地を背景とした産業や歴史・文化など魅力ある地域資源を広域でPRをします。

講座では始良カルデラを取り上げ、ジオ資源(地質・火山・自然)の魅力や歴史的背景、また、錦江湾の食や自然のサイクルを学び、ジオ資源の恩恵を感じることで親しみを深めます。

なお、日本ジオパークは現在、霧島ジオパーク、桜島・錦江湾ジオパーク、三島村・鬼界カルデラジオパークの3つが鹿児島県にあります。

お問合せ

商工観光課観光係 ☎66-3145

イベント⑨

勇壮な鉦と太鼓の音が響き渡る

8月の風物詩、加治木・蒲生太鼓踊り

主催 始良市

8月16日(金) ※雨天時
18日(日)

8:00～ 場所 加治木

8月21日(水) ※雨天時
22日(木)

9:00～ 場所 蒲生

華麗な衣装・化粧をして、活発に勇壮に踊る様子が特徴の太鼓踊り。島津義弘が文禄・慶長の役の凱旋記念として、駿河の念仏踊りを参考に家臣に習得させたといわれています。

一方でそれより古い時代から太鼓踊りが踊られていた記録もあることから、中世から地域に根ざした芸能に、念仏踊りの鉦や朝鮮出兵などの要素が加え、現在の太鼓に変化してきたと考えられています。

現在、8団体(加治木4、蒲生3、始良1)の保存会があり、精力的に後継者育成や保存伝承に努めています。



詳しいスケジュール

お問合せ

社会教育課文化財係 ☎62-2111(内線 210)

イベント⑩

計画づくり、市民もアイデア出し合う

加治木・蒲生両庁舎建設ワークショップ

主催 始良市

8月25日(日)

9月8日、10月6日

場所

加治木総合支所、蒲生公民館



加治木庁舎の北庁舎



加治木庁舎の南庁舎



蒲生庁舎の本館

加治木庁舎の北庁舎は1963年(S38)、南庁舎は1960年(S35)に建築、蒲生庁舎の本館は一番古く1954年(S29)に建てられています。ちなみ本庁本館は1960年(S35)でこれら4つの庁舎が築後半世紀以上が経過しています。

加治木・蒲生の両総合支所庁舎は、行政機能や防災機能、まちづくりの拠点などの機能をあわせ持った、それぞれの地域にふさわしい施設として整備したいと考えています。

今年も昨年末に引き続き加治木・蒲生それぞれの地区で3回ずつワークショップを実施します。

地域のみなさんのアイデアをもとに交流機能や共生・協働機能などの意見をまとめ、新総合支所庁舎建設基本計画に反映させます。

各地区15人程度、市在住・在勤・在学の16歳以上が対象です(7/31まで現在募集中)。

加治木・蒲生各3回(いずれも日曜日) 8/25、9/8、10/6

●加治木総合支所南庁舎 2階 多目的ホール 9:30～正午

●蒲生公民館 2階みがきとぎの間 14:00～16:30

お問合せ

行政管理課庁舎建設係 ☎66-3075